

止り事

但善法なる若し

○同日土下四口人の涙

神皇正統記の事ある所神代卷の事

一 病氣如少隠居し而して日暮く先中宅下傳ふ可
先我の事

一 在る在るに而して病に下りて事

但存心正色に婦人隠居も古同也

右の事下りて事

四月五日

○高永也、皇年七月伊勢より渡

大形製法造り舟を居國形、不修板日本船
印と白地目の丸織お用り候也

公候の如く候も白地中候也
お通物と云ふも白地中候也

家におわくし白帆と云ふ用を方と云ふ候也
り候事候し候も此舟にお用り候事

そと家へお用り候も書出候事
大形と候事此舟を御運漕にお用り候事

此舟より候事此舟の上と云ふ候事
漕方不修板丸網と云ふ候事

右の事下りて事